学生支援

（表６）在籍学生数内訳、留年者数、退学者数

＜学士課程＞

学部	学科		2023年度	2024年度	2025年度	備考
アジア太平洋学部	アジア太平洋学科	在籍学生数（A）	2,532	2,464	2,373	秋入学実施　11月1日時点
		うち留年者数（B）	66	70	54	秋入学実施　11月1日時点
		留年率（B）／（A）*100	2.6	2.8	2.3	
		※原級留置制の有無、概要	原級留置制なし。最低在学年限超過学生を留年者数として記載。			
		当該年度退学者数	67	75	65	
計		在籍学生数（A）	2,532	2,464	2,373	
		うち留年者数（B）	66	70	54	
		留年率（B）／（A）*100	2.6	2.8	2.3	
		当該年度退学者数	67	75	65	
国際経営学部	国際経営学科	在籍学生数（A）	2,681	2,740	2,768	秋入学実施　11月1日時点
		うち留年者数（B）	50	62	65	秋入学実施　11月1日時点
		留年率（B）／（A）*100	1.9	2.3	2.3	
		※原級留置制の有無、概要	原級留置制なし。最低在学年限超過学生を留年者数として記載。			
		当該年度退学者数	83	86	83	2025年度退学者数：同一学生が除籍(2025年5月31日)と退学(2026年3月27日)　併せて1名で算出（延べ人数ではない）
計		在籍学生数（A）	2,681	2,740	2,768	
		うち留年者数（B）	50	62	65	
		留年率（B）／（A）*100	1.9	2.3	2.3	
		当該年度退学者数	83	86	83	
サステイナビリティ観光学部	サステイナビリティ観光学科	在籍学生数（A）	351	722	1,060	秋入学実施　11月1日時点
		うち留年者数（B）				
		留年率（B）／（A）*100				
		※原級留置制の有無、概要	原級留置制なし。2023年4月学部設置のため、最低在学年限超過学生は該当なし。			
		当該年度退学者数	4	21	31	
計		在籍学生数（A）	351	722	1,060	
		うち留年者数（B）	0	0	0	
		留年率（B）／（A）*100	0.0	0.0	0.0	
		当該年度退学者数	4	21	31	
学士課程合計		在籍学生数（A）	5,564	5,926	6,201	
		うち留年者数（B）	116	132	119	
		留年率（B）／（A）*100	2.1	2.2	1.9	
		当該年度退学者数	154	182	179	

＜修士課程＞

研究科	専攻		2023年度	2024年度	2025年度	備考
経営管理研究科	経営管理専攻	在籍学生数（A）	79	82	78	秋入学実施　11月1日時点
		うち留年者数（B）	1	6	2	秋入学実施　11月1日時点
		留年率（B）／（A）*100	1.3	7.3	2.6	
		※原級留置制の有無、概要	原級留置制なし。最低在学年限超過学生を留年者数として記載。			
		当該年度退学者数	6	5	1	
計		在籍学生数（A）	79	82	78	
		うち留年者数（B）	1	6	2	
		留年率（B）／（A）*100	1.3	7.3	2.6	
		当該年度退学者数	6	5	1	
修士課程合計		在籍学生数（A）	79	82	78	
		うち留年者数（B）	1	6	2	
		留年率（B）／（A）*100	1.3	7.3	2.6	
		当該年度退学者数	6	5	1	

＜博士課程＞

研究科	専攻		2023年度	2024年度	2025年度	備考
アジア太平洋研究科	アジア太平洋学専攻（博士前期）	在籍学生数（A）	32	32	38	秋入学実施　11月1日時点
		うち留年者数（B）	1	1	0	秋入学実施　11月1日時点
		留年率（B）／（A）*100	3.1	3.1	0.0	
		※原級留置制の有無、概要	原級留置制なし。最低在学年限超過学生を留年者数として記載。			
		当該年度退学者数	3	1	2	
	国際協力政策専攻（博士前期）	在籍学生数（A）	89	82	97	秋入学実施　11月1日時点
		うち留年者数（B）	1	5	5	秋入学実施　11月1日時点
		留年率（B）／（A）*100	1.1	6.1	5.2	
		※原級留置制の有無、概要	原級留置制なし。最低在学年限超過学生を留年者数として記載。			
		当該年度退学者数	3	3	1	
	アジア太平洋学専攻（博士後期）	在籍学生数（A）	24	25	32	秋入学実施　11月1日時点
		うち留年者数（B）	7	8	11	秋入学実施　11月1日時点
		留年率（B）／（A）*100	29.2	32.0	34.4	
		※原級留置制の有無、概要	原級留置制なし。最低在学年限超過学生を留年者数として記載。			
		当該年度退学者数	1	2	3	
計		在籍学生数（A）	145	139	167	
		うち留年者数（B）	9	14	16	
		留年率（B）／（A）*100	6.2	10.1	9.6	
		当該年度退学者数	7	6	6	
博士課程合計		在籍学生数（A）	145	139	167	
		うち留年者数（B）	9	14	16	
		留年率（B）／（A）*100	6.2	10.1	9.6	
		当該年度退学者数	7	6	6	

［注］

1　原則として、学部は学科単位、研究科は専攻単位で記入してください。

2　「在籍学生数（A）」は、表２の「在籍学生数」欄と同じ数値を記入してください。

3　留年者数は、各年度とも５月１日時点の数を記入してください。なお、原級留置制をとらない場合、留年者数として最低在学年限超過学生数を記入してください。ただし、長期履修生、休学中又は休学によって進級の遅れた者、留学中又は留学によって進級の遅れた者は除きます。

4　退学者数は、当該年度に発生したすべての数を記入してください。退学者には除籍者を含みます。

5　留年が決定した者が同一年度に退学した場合でも、留年者数欄と退学者数欄の両方に数を記載してください。ただし、退学者数欄の備考にはその者が含まれる旨を書いて下さい。

6　課程を前期・後期で区分している専門職大学にあっては、学科ごとに前期・後期に分けて作表してください。

7　以下の条件を満たす場合、本表を作成せず大学が公表する情報に代えられます。

(a) 2023年度から2025年度までの在籍学生数、留年者数、退学者数が学部は学科単位、研究科は専攻単位で分かること。
なお、ある年度分のみ公表情報を欠く場合は、その年度のみ基礎データを作成し他を公表情報に代替することは可能。また、現在公開していないが過去に公開していた資料を用いることは可能。

(b) 留年者数については、長期履修生、休学中又は休学によって進級の遅れた者、留学中又は留学によって進級の遅れた者の数が除かれているか、別資料によって除外される数が容易に確認可能であること。